

「トウモロコシ」 それは幸せを呼ぶ言葉

校長 片 山 亮 一

先日、1年生の生徒たちが登校前にそれぞれの出身小学校に立ち寄り、小中交流あいさつ運動『明るいあいさつ in 出身小学校』を爽やかに展開しました。

懐かしい出身小学校で活動できるとあって、この雄山中学校の初めての企画に100名を超える生徒が進んで参加してくれました。

当日は「夏休みの望ましい過ごし方」について生徒たちが手書きしたイラスト入りのプリントが小学生一人一人に手渡され、どの小学校の玄関先も温かな交流の場となっていました。

仮に小さなことであっても、「誰かのために役立つ経験」はそれぞれの心を解放し、新たなエネルギーを充たしてくれます。これは生徒だけでなく、大人も同様です。この日の1年生の生徒たちの表情が、いつも以上に輝きに満ちているように感じられました。

さて、本日、おかげさまで無事に1学期を終えることができました。新たな令和の時代を迎え、雄山中学校ではこれまで以上に「かたる・まもる・つなぐ」といった生徒の活動を大切にしてきました。

とりわけ、活動スローガン「十人十色～互いの個性を受け入れ、認め合おう～」を掲げている本年度の生徒会が、7月第1週を人権を見つめる週間『十人十色week (ウィーク)』として活動を工夫し、雄中生一人一人に問いかけてくれたことは、本当にうれしいことです。この活動は2学期以降も継続されますが、仲間を大切にする校風がより望ましい形で引き継がれることを心から願っています。

7月12日の午後、体育大会の結団式が行われました。私は団の活動を見て回りましたが、例年に劣らない団リーダーから語られる熱いメッセージや、その後の団全員による声出しやパフォーマンス練習の躍動する姿から、今年の体育大会も素晴らしいものになると確信しました。

そのような中、驚くことがありました。一つの団だけは練習に終始することなく、ほのぼのとした雰囲気の中で小グループになって座り、柔らかな表情で向き合っているのです。

不思議に思っているのもつかの間、リーダーから団員に次の言葉が発せられました。

みなさん立ってください。次の言葉を伝えるよ。いいですか。 ト・ウ・モ・ロ・コ・シ!

この「トウモロコシ」の言葉を聞いた団員たちは、「6文字6文字!」と互いに声を掛け合いながら、大急ぎで6人グループをつくるのです。

実は、告げられた言葉の文字数と同じ人数のグループをつくる対人関係ゲームが、団役員の主導で進められていたのです。「団活動の初日には、団員がまずは仲よくなることから始めたい」という生徒の純粋な願いを知り、心が洗われるような気持ちになりました。

いよいよ夏休みに入り、様々な努力を重ねた生徒たちの生活の中心が、学校から家庭・地域へとシフトします。生徒たちを取り巻く大人の望ましい関わりの中で、どの生徒にも心身ともにリフレッシュしてもらいたいと思います。



笑顔でプリントを手渡す中学生

【今後の主な予定】

7月25日(木) 夏季休業(～8月26日)	8月22日(木) 全国中学校文化祭(～23日:県民会館)
7月27日(土) 富山県民体育大会(～28日)	8月27日(火) 2学期始業式
7月29日(月) 富山県吹奏楽コンクール	9月5日(木) 体育大会予行
8月3日(土) クリーンアップ雄山	9月7日(土) 体育大会
中部日本吹奏楽コンクール県大会	9月9日(月) 7日の振替休業日
8月4日(日) 立山・室堂外来種植物除去プロジェクト	9月14日(土) 新川地区新人大会(陸上競技)
8月6日(火) 北信越大会(新潟県:～9日)	9月16日(月) 敬老の日
8月8日(木) 立山町戦没者追悼式典	9月17日(火) 学校集金口座振替日
8月9日(金) 立山町子ども議会本会議	9月21日(土) 新川地区新人大会①(陸上以外)
8月13日(火) 学校閉庁(～16日)	9月22日(日) 新川地区新人大会②(陸上以外)
8月16日(金) 全国中学校体育大会(～25日)	9月23日(月) 秋分の日
8月17日(土) 古紙回収①	9月30日(月) 社会に学ぶ『14歳の挑戦』
8月18日(日) 古紙回収②	(～10月4日)



3つの保健講演会 ～心と体の健康について見つめました～

夏休みを迎える前に、学年ごとに専門の先生方をお招きし、以下のテーマで保健講演会を開催しました。

どの講演もスライドや映像を交えながら、中学生に分かりやすく話していただきました。生徒たちはじっくりと講演を聴きながら、普段の自分の言動を振り返ったり、将来の自分をイメージしたりしていました。

学 年	講 演 の テ ー マ
1 年 生	睡眠時間を確保して、心も体も健やかに
2 年 生	対人スキルを身に付けよう
3 年 生	中学生の皆さんに聞いてほしい「生」と「性」の話



講師の先生の話真剣に聴く生徒たち

【生徒の感想より】

- ・ 自分の生活を振り返ってみると、睡眠時間が足りていないことに気付きました。ストレスをためたくないし学力も伸ばしたいので、今日からしっかり睡眠時間を確保していきます。

互いの権利や個性について問い直した「人権集会」

7月1日（月）からの1週間、『十人十色 week～人それぞれがもつ権利や個性について考えよう～』をスローガンに、全校で人権について見つめました。

毎朝、学級ごとに人権に関する映像を視聴して各自の考えを深め、その考えをグループや学級で伝え合い、人権に関する作文を書く時間も設けました。

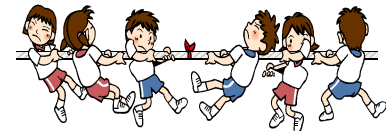
7月16日（火）には「人権集会」を開き、それまでに話し合われたことを学年ごとに発表し、学年の代表生徒が「自分が考える人権」について読み上げました。



「人権集会」で伝え合う生徒たち

【人権作文より】

- ・ 言葉の重みを強く感じました。人を支える言葉や思いやりのある言葉、ほめる言葉等を大切にしながら、自分も相手も嫌な思いをしないようにしていきたいです。
- ・ 今回の「十人十色 week」で、人権には幅広い意味があることを知りました。いじめや差別だけでなく、その人自身を見ていない噂話も人権侵害になることを知って、自分たちにできることをしっかりと考えていきたいと思いました。



体育大会での健闘を誓い合った「結団式」

7月12日（金）に、全校生徒が4つの団に分かれ、「体育大会結団式」を行いました。各団のリーダーから伝えられる体育大会への熱い意気込みが、団員の士気を高めていました。

【各団団長の意気込み】

<p>朱雀団 竹内 幹太 僕は、朱雀団のみんなが活躍できるような団にします。みんなが活躍するには、一人一人の力が大切です。リーダーだけが目立つのではなく、一人一人が全力を出し、総合優勝を絶対にとりにいきます。そして、みんなには最高の思い出をつくらせてもらいたいです。</p> 	<p>青龍団 長澤 良音 自分が目指す青龍団は、男女や学年に関係なく全力で応援できる団です。特に応援パフォーマンスでは全員が心をつなげて最優秀賞をとり、総合優勝の喜びをみんなで味わいたいです。</p> 
<p>白虎団 村田 隼 今年の白虎団は、全力で競技や応援に取り組む団にしたいと思います。練習の段階から団リーダーが笑顔で大切に、団員が自然と笑顔になれるように頑張ります。一致団結して最後まで全力で競技に臨み、総合優勝を目指します。</p> 	<p>玄武団 下井 浦生 今年の玄武団は、全員が主役になれる団にしたいと思います。リーダーだけが目立つのではなく、全員が主役になれるようなパフォーマンスをつくりたいです。一人一人が体育大会を楽しみながら3連覇ができるよう頑張ります。</p> 